

凌雲台

ふるさとに笑顔広げる 龍野っ子
～笑顔 元気 感謝 安全～

龍野小学校学校便り
第33号
令和3年10月1日
文責：校長 大江律子

「自分の考えを伝え合って 学び合う素敵な授業」

29日、甲佐中学校校区学力向上研究発表会が実施されました。甲佐中校区のそれぞれの学校で、授業を公開しました。龍野小では、6年生の国語の授業を公開しました。6年生は、「甲佐町のパンフレットをつくる」ために、国語科の説明文「『鳥獣戯画』を読む」という説明文を読んで、根拠をもって自分の考えをノートに書き、発表しあう授業でした。今回の公開授業では、蔓延防止中なので、教室で授業を見てもらうことは難しい状況でした。そこで、町内の先生に教室や廊下から参観していただき、町外の先生にはビデオで撮影し、オンラインで授業を公開しました。いつもと違う状況で、少し緊張した様子でしたが、子どもたちは集中して学習に取り組んでいました。参観された先生から、「学級の雰囲気がとても良かった」「子どもたちがとても真剣に学習していた」「自分の考えを分かりやすく伝えようとしていた」などたくさんお褒めの言葉をいただきました。



Zoomで視聴する参加者

「自分たちで授業をつくる」藤田先生と6年生の子どもたちのとても素敵な授業でした。

「国語日記」～6年生の日記から

○「キーンコン カーンコーン」チャイムと同時に5時間目の授業が始まった。教室の後ろや廊下にはたくさんの方が集まっていた。授業の内容は、「鳥獣戯画」を解説している高畑さんの工夫は何が一番効果的なのかを考えることだ。

私は、構成の工夫が一番効果的だと考えた。○○君の意見の理由の発表の仕方がすごいなあと思った。なぜなら、「もし」を使って比べていたからだ。外にも○○さんは、「何ページの何行目を見てください」と教科書のページや行を言っていた。このような発表をすると聞いている人に伝わりやすいと思った。

研究授業はめったにないから、いい経験になった。

○「お願いします。」そう言って始まる授業は緊張感に包まれていた。今日の5時間目の国語は、公開授業が行われた。カメラで教室を映したり、先生方が教室に来たりしながら私たちの授業が始まった。授業を進めていくうちに選んだランキングの理由をノートに書いて発表することになった。最初に発表したのは、○○さんだ。「人それぞれ理由が違う」というのが私と似ていた。「おおー」と周りの人が言った、七海ちゃんの見解には、みんなが賛成したようだった。その後、私も発表をした。たくさんの方の前で発表するのは、とても勇気がいるけど、少し自信が持てたので、発表してよかったと思う。

今日の学習を次のパンフレットづくりに生かしたい。

とても素敵なあいさつ…

30日の放課後のことです。学校に来校された方が帰られるとき、「さようなら」と、とても素敵なあいさつが響きました。野球部の子どもたちのあいさつです。相手の人に伝わる声で帽子をとってしっかりあいさつをしてくれました。今日、地域の方から「あいさつはしてくれる子どもが増えていますが、聞こえない子がいます。」という話を聞きました。あいさつはずいぶん上手になってきました。次は、相手の人に聞こえる声を意識していきましょう。



帽子をとって挨拶をする子どもたち